SHINKIN REPORT 2024

松本信用金庫令和6年度(第104期)
上半期ディスクロージャー

令和6年4月1日 ▶ 令和6年9月30日

松本信用金庫

将来ビジョン

[経営理念体系図]

経営理念

「もっと身近な金融機関として
質の高い金融サービスの提供に努め、
お客さまや地域経済の発展に貢献する。」

経営方針

4つの経営方針

行動理念

4つの行動理念

いずれも次の4つの視点で

❶ お客さまの視点　❷ 地域の視点
❸ 金庫の視点　❹ 職員の視点

将来ビジョン

For Your Future ～地域の未来のために～

未来につなぐ100年分の感謝と想い

[4つのFuture]

- 松本エリアの価値向上
- 地域密着型金融への特化
- 業務効率化・金融デジタル化
- 職員の働きがいの醸成

経営方針

❶ お客さまのために

常にお客さまの立場に立って考え、お客さまの喜びを自らの喜びとし、お客さまが本当に必要としているサービスや情報を見極め、提供することで信頼される金融機関を目指します。

❷ 地域のために

確かな能力と豊かな人間性を持った人材を育成し、新たな価値を創出し、地域の発展・活性化のために貢献していきます。

❸ 金庫が存続し続けるために
(社会的責任、CSR・SDGs・ESG)

健全経営を行い、効率経営に全役職員が参加することで松本信用金庫として生き残り、持続可能な地域社会づくりに努力していきます。

❹ 働きがいのある職場のために

変革と挑戦を続け、公平・公正な人事管理により活力とやりがいのある職場を目指します。

行動理念

**常にお客さまの立場に立って考え、
真にお客さまの役に立つ
サービスの提供に努めよう**

**確かな能力と豊かな人間性を持ち、
地域の発展・活性化に貢献しよう**

**健全経営・効率経営を
全役職員が意識し、
より強固な経営基盤を確立しよう**

**意識改革と挑戦を続け、
働きがいのある職場をつくろう**

*行動理念とは、当金庫の経営理念を実現するための行動基準であり、役職員は常にこの行動理念を念頭において思考・行動することが求められます。

当金庫の概要(令和6年9月30日現在)

- **本店所在地**：〒390-0873　長野県松本市丸の内1番1号　Tel：0263-35-0001
- **設立**：大正11年2月
- **預金**：4,543億円
- **貸出金**：2,116億円
- **出資金**：10億円
- **常勤役職員数**：305人
- **店舗数**：27店舗(うち出張所：1店舗、ブランチ・イン・ブランチ：1店舗)

令和6年度上半期　業績ハイライト

平素は、松本信用金庫をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当金庫の令和6年度上半期（令和6年4月1日から令和6年9月30日まで）の業績をまとめました「令和6年度（第104期）上半期ディスクロージャー」を作成いたしました。ご高覧のうえ、当金庫の経営につきまして、より一層のご理解をいただければ幸いに存じます。

＊本資料の記載金額・比率は単位未満を切り捨てて表示しております。
＊記載事項については、監査法人の監査は受けておりません。

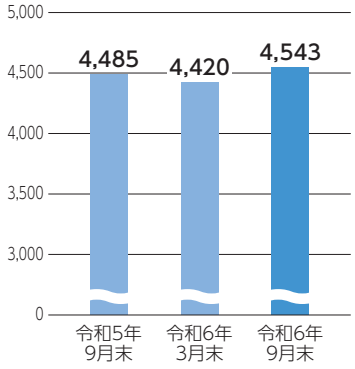
預金・貸出金の状況

預金

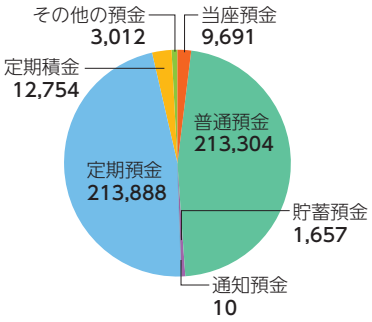
預金は、法人預金がやや減少したものの、個人のお客さまを中心とした流動性預金が増加した結果、令和6年3月期末比122億円増加の4,543億円（2.77%増加）となりました。

引き続き、地域のお客さまの着実な資産づくりのお手伝いをさせていただくため、きめ細かな営業活動を行ってまいります。

預金残高（単位：億円）



預金積金科目別内訳
（単位：百万円）



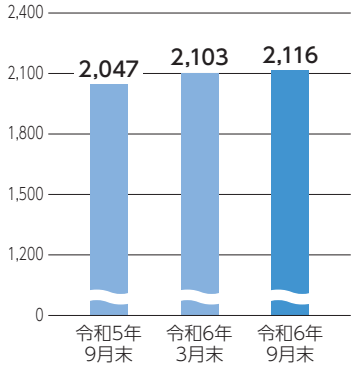
令和6年9月末 預金残高　**4,543億円**

貸出金

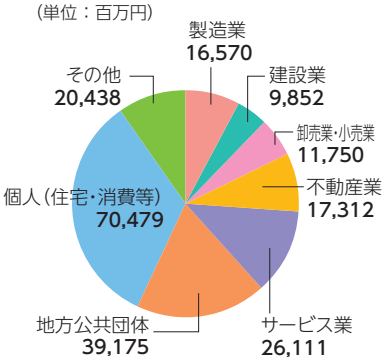
貸出金は、一般法人向けが減少したものの、住宅ローンを中心とした個人のお客さま向けが増加した結果、令和6年3月期末比13億円増加の2,116億円（0.64%増加）となりました。

引き続き、地域経済の発展と地域社会の活性化のため、円滑な資金提供を行ってまいります。

貸出金残高（単位：億円）



貸出金業種別内訳
（単位：百万円）

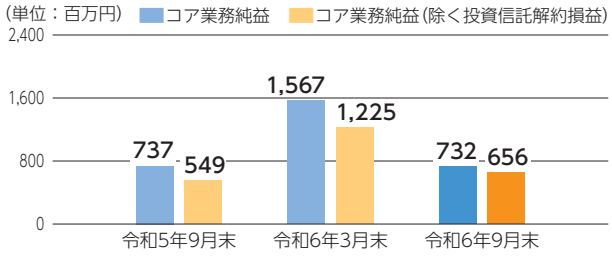


令和6年9月末 貸出金残高　**2,116億円**

収益の状況

収益は、資金運用収益、株式等売却益が増加したものの、資金調達費用、経費、国債等債券売却損の増加により、経常利益は、前年同月比19百万円減少し5億98百万円、当期純利益は、前年同月比5百万円減少し5億20百万円となりました。また、投資信託解約損益を除いたコア業務純益は、前年同月比1億6百万円増加し6億56百万円となりました。

コア業務純益・コア業務純益(除く投資信託解約損益)

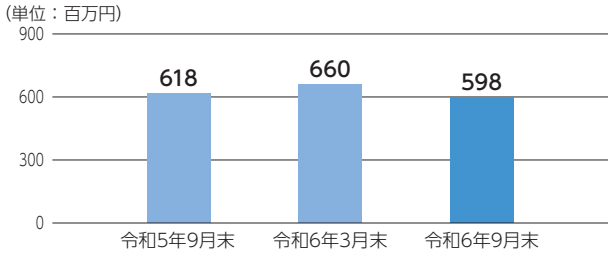


令和6年9月末 コア業務純益 732百万円

令和6年9月末 コア業務純益 (除く投資信託解約損益) 656百万円

＊コア業務純益…実質業務純益（業務純益+一般貸倒引当金繰入額）から国債等債券損益（国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却を通算した損益）を加減した利益で、より実質的な金融機関本来の業務による収益力を示しています。

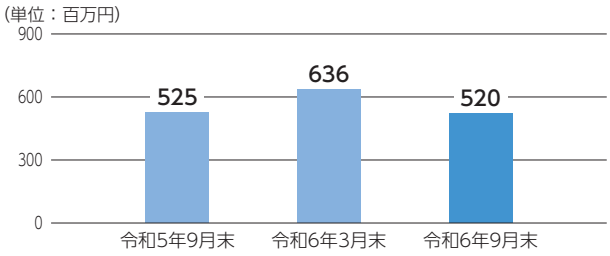
経常利益



令和6年9月末 経常利益 598百万円

＊経常利益…業務純益に、業務外の損益を加減した利益で、金融機関の経常的な営業活動の成果を示しています。

当期純利益



令和6年9月末 当期純利益 520百万円

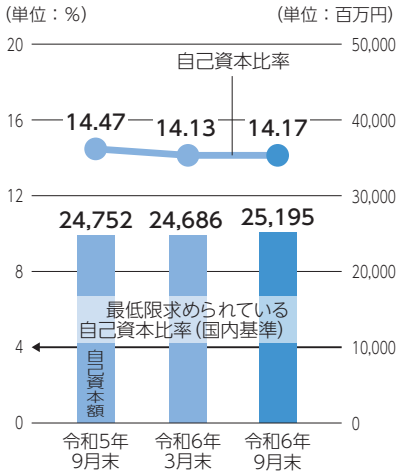
＊当期純利益…経常利益に、特別損益を加減し、法人税等を控除した利益で、最終利益ともいいます。

自己資本比率の状況

自己資本比率とは、リスクのある資産（リスク・アセット）に対して自己資本がどれくらいあるかを示す重要な指標です。

令和6年9月末の自己資本比率は、令和6年3月期末比0.04ポイント上昇し14.17%となりました。国内基準（4%以上）を大きく上回っており、経営の健全性・安全性を十分に保っております。

自己資本比率・自己資本額の推移



自己資本の構成

(単位：百万円)

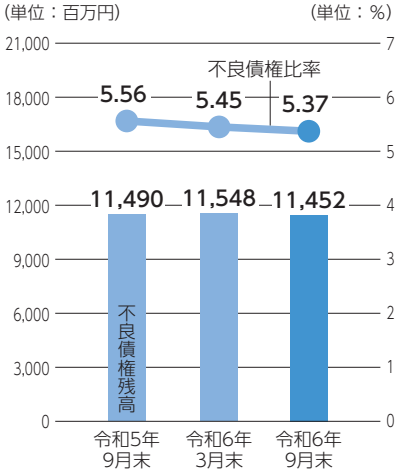
項　目	令和6年3月末	令和6年9月末
①コア資本に係る基礎項目	24,975	25,476
②コア資本に係る調整項目	288	280
③自己資本の額（①−②）	24,686	25,195
④リスク・アセット等の額の合計額	174,615	177,741
自己資本比率 ③/④	14.13（%）	14.17（%）

令和6年9月末 自己資本比率 14.17%

不良債権の状況

信用金庫法及び金融機能の再生のための緊急措置に関する法律に基づき、総与信の状況がどのような状況にあるのかを、当金庫の資産査定基準に基づき算出しております。令和6年9月末の不良債権残高は、令和6年3月期末比96百万円減少し114億52百万円となりました。不良債権比率は0.07ポイント改善し5.37%となりました。

不良債権残高・不良債権比率の推移



令和6年9月末 不良債権比率 **5.37%**

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：百万円、%)

区分		開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による回収見込額(c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b)/(a)	引当率 (d)/(a-c)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和6年3月期	1,995	1,995	907	1,088	100.00	100.00
	令和6年9月期	1,942	1,942	872	1,070	100.00	100.00
危険債権	令和6年3月期	9,204	8,529	7,158	1,371	92.66	66.99
	令和6年9月期	9,387	8,548	7,261	1,286	91.06	60.52
要管理債権	令和6年3月期	347	171	136	34	49.38	16.52
	令和6年9月期	122	39	24	15	32.42	15.86
三月以上延滞債権	令和6年3月期	1	1	1	0	110.01	-
	令和6年9月期	-	-	-	-	-	-
貸出条件緩和債権	令和6年3月期	346	170	135	34	49.14	16.45
	令和6年9月期	122	36	24	12	29.70	12.47
小計 (A)	令和6年3月期	11,548	10,696	8,202	2,494	92.62	74.55
	令和6年9月期	11,452	10,530	8,158	2,372	91.95	72.02
正常債権 (B)	令和6年3月期	200,270					
	令和6年9月期	201,581					
総与信残高 (A)+(B)	令和6年3月期	211,819					
	令和6年9月期	213,033					

有価証券の状況

有価証券残高は、令和6年3月期末比44億76百万円増加し1,769億69百万円となりました。流動性・安全性・収益性に留意し運用しております。

有価証券の状況

(単位：百万円)

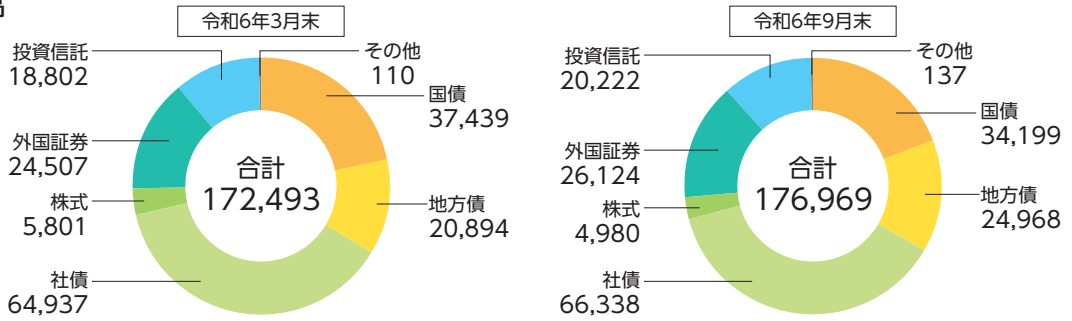
		令和6年3月末 取得原価	時価	差額	令和6年9月末 取得原価	時価	差額
その他有価証券	株式	3,810	5,801	1,991	3,878	4,980	1,101
	債券	125,851	121,974	△ 3,877	127,202	123,208	△ 3,993
	その他	43,663	42,720	△ 942	45,795	44,583	△ 1,212
	合計	173,325	170,496	△ 2,829	176,876	172,772	△ 4,103

		取得原価	時価	差額	取得原価	時価	差額
満期保有目的有価証券	債券	1,297	1,306	9	2,297	2,298	1
	その他	700	710	10	1,900	1,870	△ 29
	合計	1,997	2,017	20	4,197	4,169	△ 27

(注) 1.「その他」は、外国証券、投資信託及びその他の証券です。
2.「差額」は、基準日時点の取得原価（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

有価証券種類別残高

(単位：百万円)



令和6年9月末 有価証券残高 **1,769億円**

TOPICS

～上半期 TOPICS～

2024.04.01　「アプリバンキング開始記念定期預金」取扱い開始
2024.05.23　松本信用金庫ビジネスクラブ講演会　開催
「言葉の選び方、つきあい方」　金田一 秀穂氏
2024.05.29　脱炭素化およびCO₂排出量削減支援サービス開始
（株式会社 NEXYZ.連携契約締結）
2024.06.16　松本信用金庫スペシャルマッチ　開催
（松本山雅FC vs アスルクラロ沼津）
2024.07.05　塩尻市における「地域の人事部」連携協定締結
2024.08.08　地域エネルギー事業会社「松本平ゼロカーボンエネルギー株式会社」設立（共同出資）
2024.09.09　第2弾「SDGs定期預金こどもの未来」取扱い開始
2024.09.09　松本しんきんまちづくりファンド組成
（一般財団法人民間都市開発推進機構との共同出資）
2024.09.30　松本しんきんまちづくりファンド組成セレモニー開催および第1号案件への投資決定

未来を担う子どもたちのために…

SDGs定期預金「～こどもの未来～」

「LINE」による情報配信も行っています!

スマートフォンのコミュニケーションアプリ「LINE」において、当金庫イメージキャラクター「ジョン君」が、キャンペーン情報や商品情報、地域の情報などお役立ち情報をお届けしています。

＊友だち登録方法等詳細につきましては、当金庫ホームページ（https://www.matsumoto-shinkin.jp）をご確認ください。

詳細はこちらまでお問い合わせください。　松本信用金庫 営業統括部　TEL：0263-35-0008